

KONOMA

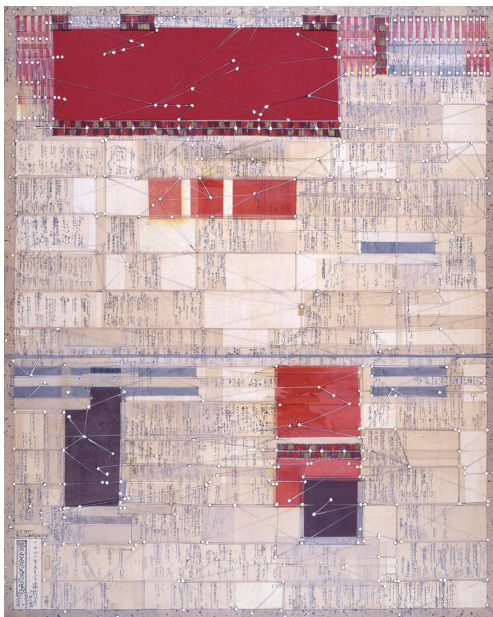
# 木の間通信

## 村上善男 展

〈没後10年〉北の磁場に釘を打つ―

2017年2月25日(土) ~ 4月5日(水)

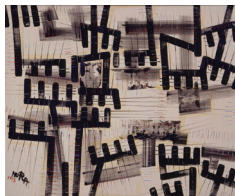
●会場：萬鉄五郎記念美術館



1.



2.



3.

村上善男(1933-2006)は、盛岡、仙台、弘前と土地の文化を内包した作品を発表してきました。村上は1960年代から、注射針を画面に貼り付ける作品で一世を風靡しました。その後弘前に移り住んでから開始された古文書や染め布を画面に貼り付けた「釘打ちシリーズ」では、民俗と現代美術を融合した新たな表現性を打ち出しました。また萬鉄五郎や東北の美術家たちの美術研究家としても活躍しました。

本展では村上の没後10年の節目にあたり、その生涯の作品を展覧し村上芸術の本質に迫ります。

- 休館日 月曜日(月曜が祝日の場合その翌日)
- 開館時間 8:30 ~ 17:00 (入館は16:30まで)
- 入館料 一般400円、高校・学生250円、小・中学生150円  
\*20名以上団体各50円引き

1. 村上善男《藤景之内赤倉山久井名村往還圖》1999年  
2. 村上善男《無題》1958年 3. 村上善男《無題》1958年

# 没後90年 萬鐵五郎 展

よるずてつごろう

萬鐵五郎(1885-1927)の没後90年を記念し、約20年ぶりの大回顧展を開催します。油彩画の代表作の展示に加え、近年の様々な研究成果を併せて紹介し、萬鐵五郎が目指した表現の本質に改めて迫ります。特に、萬鐵五郎記念美術館では、水墨画制作に焦点を当て、その造形や表現の変遷、同時代の油彩画との関連性などについて展覧します。

2017年4月15日(土)～6月18日(日) 月曜休館(祝日の場合その翌日)

岩手県立美術館・萬鐵五郎記念美術館〈2館同時開催〉

岩手県立美術館では油彩、萬鐵五郎記念美術館は水墨を中心に展示予定。

- 入館料 岩手県立美術館 一般1,000(800)円、高校・学生600(500)円、小・中学生400(300)円( )団体 前売料金 萬鐵五郎記念美術館 一般700(650)円、高校・学生400(350)円、小・中学生300(250)円( )20名以上団体



萬鐵五郎《秋豊農夫図》1922年頃  
紙本墨画 萬鐵五郎記念美術館

# 光の詩人 内村 皓一 展

2016年12月3日(土)～2017年2月19日(日) ●開館時間 8:30～17:00

●会場 萬鐵五郎記念美術館 ●休館日 月曜日(祝日の場合その翌日)

●入館料 一般400(350)円、高校・学生250(200)円、小・中学生150(100)円

( )内20名以上団体料金



内村皓一《平和の鐘》花巻市立花巻図書館

## 参加募集! 土澤アートクラフトフェア

アート作品・クラフト作品などクリエイターのお店290組を募集します。

- 開催日時 2017年5月3日(水・祝)・4日(木・祝) 10:00～16:00
- 会場 土澤商店街&萬鐵五郎記念美術館前庭(花巻市東和町土沢)
- 募集期間 2017年2月1日(水)～15日(水) ※応募多数の場合抽選となります
- 申込・問合せ先 土澤アートクラフトフェア事務局 ※日曜・祝日休み  
岩手県花巻市東和町土沢5-405「キクヤ」内 ☎0198-42-2632 ホームページ <http://artstsuchizawa.com/>

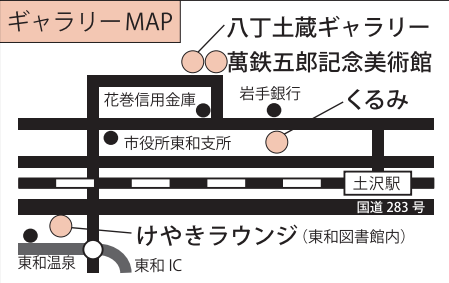
## 喫茶「八丁土蔵」



萬鐵五郎の自家「八丁」にあった土蔵を移築復元し、ギャラリーと喫茶スペースとして活用しています。自慢のオリジナルコーヒー「蔵」「八丁」を、ぜひ一度ご賞味ください。 営業時間：10:00～16:00(10:15:30)

# 美術の街「土沢」 ギャラリー情報

萬鉄五郎記念美術館とあわせて、「美術の街」土沢めぐりをしてみてはいかがでしょうか。



萬鉄五郎記念美術館

## 八丁土蔵ギャラリー

花巻市東和町土沢 5-135 萬鉄五郎記念美術館内  
9:00-16:00 月曜休 (祝日の場合翌日)、入場無料

iwate コンテンポラリーアート vol.5

## 宮本義満 展 《窓》

12/3 (土) ~ 2/19 (日)

iwate コンテンポラリーアート vol.5

## 小笠原卓雄 展

Photo installation 表面について—約束の地表

2/25 (土)  
~  
4/5 (水)



## Gallery Space けやきラウンジ

花巻市東和町安俵6-90 東和図書館内 tel.0198-42-3205  
10:30~18:00 (最終日は16:00まで) 入場無料

## H氏のコレクション展

2/1 (水) ~ 2/28 (火)

とある収集家の  
珠玉のコレ  
クション。



## カミムラ コーイチ展

3/1 (水) ~ 3/31 (金)

花巻在住作家による  
ドローイングなど。



## 土沢カフェ くるみ

花巻市東和町土沢8-115こっぼら土澤 tel.080-3334-3003  
10:00~17:00 火曜定休

## 写真展「森の隣人たち」

2/1 (水) ~ 2/27 (月)

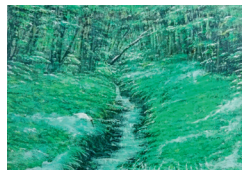
ごく身近な山にすむ、  
ムササビ、リス、野ネ  
ズミ、モグラなどの小  
さな哺乳類の暮らしを  
写真で紹介。



## 「露(つゆ)」展

3/1 (水) ~ 3/31 (月)

静かに大地を潤す露。  
この「露」をテーマに  
船場久嘉と佐々木幸平  
の二人が、それぞれの  
視点から描く作品展。



## ゴッホの椅子

日本近代美術の変革を告げる萬鉄五郎の美校卒業制作『裸体美人』を、萬自身「ゴッホとマチスの感化のあるもので半裸の女が赤い布を巻いて鮮緑の草原に寝転んでヘイゲイしている図」と著書に書いている。その自然の中に半裸の女性を置くテーマは、ゴーギャンの作品からヒントを得ている。

萬は、太陽の光をギラギラとした風景画や自画像など、ゴッホの強烈な光の表現に影響を受けた作品を生涯にわたって多く描いている。ゴッホもまた、錦絵と言われる浮世絵の多彩な色の美しさから影響を受け、それまで誰もなしていない鮮やか色彩に開眼した。浮世絵、ゴッホ、萬へと連鎖する色彩の系譜がある。

ゴッホは、浮世絵のような美しい憧れの日本に、一歩でも近づきたいと陽光あふれる南仏アルルに行った。そこで芸術

家のコロニーを作ろうと画家仲間と呼びかけたが、やってきたのはゴーギャン一人であった。喜んだゴッホは、共同生活をする部屋を飾るため『ひまわり』を作して、二枚を客用の寝室に掛け、ゴーギャンを迎えるため「絶対的な休息」を意味する『寝室』の絵も描いた。

しかしアルルにおける共同生活は、お互いの性格の違いもあってしだいに波長が合わなくなり、二か月のあとに悲劇的な結末を迎えることになる。純粋だが思い込みが激しく、一般常識にとらわれないゴッホと、自尊心が強く現実的なゴーギャンとは同じ屋根の下の生活は無理で、口論を繰り返すようになりゴッホの「耳切事件」が起き、ゴーギャンは直ちにアルルを去った。

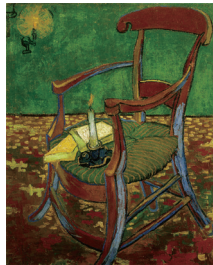
その事件が起きる直前に、ゴッホは『ゴーギャンの椅子』と『ゴッホの椅子』を別々の作品に描いている。この椅子を比較するとゴーギャンの椅子は肘掛がありゆつたりとして豪華、ゴッホの方は質素で粗末であるのは、アルルにおける立場の違いをうかがわせる。

ゴーギャンの椅子の上には読みかけの本と火を点したローソク、壁面のランプで夜の情景、一方昼の光の中のゴッホの椅子には煙草とパイプが乗り、椅子の後ろの左隅に芽の伸びた「玉葱」がさりげなく描かれている。この両者の椅子の違いには、ゴーギャンの芸術は夜の燭台の灯のように、そのうち尽きるが、自分の芸術は昼の光、太陽のように永遠に続き、そして芽を吹く植物（玉葱）のように生命力があるのだという。ゴッホの対抗心を露にしたメタファー（暗喩）なのだ！

萬鉄五郎記念美術館長 中村光紀



フィンセント・ファン・ゴッホ  
《ゴッホの椅子》 1888年 □  
ロンドン・ナショナル・ギャラリー



フィンセント・ファン・ゴッホ  
《ゴーギャンの椅子》  
1888年 ファン・ゴッホ美術館

萬鉄五郎記念美術館 岩手県花巻市東和町土沢 5-135 Tel.0198-42-4402 8:30am. ~ 5:00pm.

yorozu00@cocoa.ocn.ne.jp <http://www.city.hanamaki.iwate.jp/bunkasports/501/yorozutetsugoro/p004177.html> 月曜休館 (祝日の場合その翌日)

発行人／東和町土沢商店街商店会連絡会会長小原茂明